

横芝町の人口と世帯

＜ 4 月 30 日 現在 ＞	
人 口	12,577 (+30)
男	6,040 (+26)
女	6,537 (+ 4)
世帯数	3,051 (+16)
() 内は前月比	



広報

横芝

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
 横芝町役場
 電話 04798-2-1111(代)
 郵便番号 289-17

栗山川をきれいに

汚染対策協議会案

まとまる



社会経済の進展に伴って、私達の日常生活も豊かになった反面、豊富な商品生産活動や、活発な消費活動からなる種々の廃棄物が多量に排出されており、知らず知らずのうちに私達の周囲の自然環境が汚染されてきています。そこで町では、最近とくに汚れのひとつとなってきた栗山川を、鮎の住めるようなきれいな河川としてよみがえらせ

ようと、河川流域の六ヶ町村（光、芝山、多古、栗源、蓮沼、松尾）に呼びかけ、栗山川汚染対策協議会を結成して、六月から栗山川の浄化運動を始めることが内定しました。これによると、協議会には栗山川流域七町のほか、魚業関係団体、農業関係団体等も加え各方面から栗山川の浄化を検討し、これに努めようとしています。

また、協議会の目的を達成するために次のような事業計画案をあげています。

1 関係住民に対する栗山川浄化意識の高揚に関すること。
 2 不法投棄物を除却清掃及び投棄防止に必要な施設

農薬の取扱いは

慎重に！！

農作物の生産に農薬の果たす役割りが大きいことはいうまでもありませんが、農薬の適正な使用、管理をおこたると中毒事故など大事をまねきます。

また、農薬が食品に残留したり土壌や水質を汚染するなどの問題が大きくとりあげられています。農薬については、最近毒性が、急性、慢性ともに低いものの開発が進められていますが、農作物に対する病虫害に強力に作用する反面人間にとっても何らかの影響を与えることが少なくありません。農薬による中毒

の多くは、本人の不注意や不健康状態で散布に従事するたに起こるものが大部分です。何よりも農薬を取り扱う人達の心構えと正しい知識が必要で、油断、なれによる思わぬ事故を起こさないため農薬散布には次のことを守りましょう。

- 3 水質保全に伴う諸調査、研究に関する事。
 - 4 関係機関に対する陳情に関する事。
 - 5 その他、目的達成に必要な事項。
- また、河川の浄化については、九十九里地域広域上水道や房総導水路などの計画があり、栗山川もさらに公共事業計画の重要な役割をもつ河川になります。当地域河川としてだけではなく、広く、農業、工業、上水道用水等の水路としてこれからはますます高度利用されようとしています。美しい清い流れの栗山川になるよう、町民各位の御協力をお願い致します。

ヘルメットの着用

道路交通法の改正により、五月一日から五〇〇C以上のオートバイに乗るときは、運転者及び同乗者の別を問わずヘルメットをかぶることが義務づけられました。

最近、オートバイ等による交通事故が増している折、運転される方は、特に交通ルールを守り、安全運転に心掛けましょう。

三、作業が終わったら手足はもちろん、全身を石けんでよく洗い、作業期間中は衣服を毎日取り替えること。

四、作業後は酒を飲んだり夜ふかしはしないこと。
 五、めまいがしたり、頭痛がしたり、気分が少し悪くなった時は医師の診断を受けること。

※尚、PCP(除草剤)、マリックス(殺虫剤)を使用する時には、前もって役場開発課へ御連絡下さい。

この二つの農薬は、魚類に特別強い毒性があるので、水質汚濁性農薬とされました。農薬の使用にあたっては、当町は全地域使用規制地域と定められています。毒性をよく認識して使用者自身の危害防止をはかるためこれに応じた取扱いは注意が必要です。

- 一、散布にあたっては、必ずゴム手袋やマスクをし、服装を整えたいうえで農薬の取扱いは慎重に行ない、不健康な人、疲労している人などは、散布作業に従事しないこと。
- 二、散布作業は朝夕の涼しい時刻を選び、二〜三時間で

土地の高度利用と 生活水準の向上

町基本構想

先月号で将来の展望、開発の基本、社会経済の将来の一部について記載しましたので本号では各部門ごとの構想を追って記載します。

横芝町における産業就業者構造を過去の推移からみると一次産業は、減少傾向にあり、また、二次、三次産業は増加傾向を示しています。この傾向も目標年次の六〇年には、一次産業一八％に対し二次産業三七％、三次産業四五％とかなり高度な就業者構造に移行するものと想定しています。また、高度な就業者構造による所得の増大を図るためには、町の基幹産業である農業の大型化、近代化を推進すると共に生産性の高い工業開発を推進する必要があることをのべています。

各部門ごとの構想

無秩序な開発防止

産業発展の一大要因である土地の利用問題について、基本構想は、現在、農耕地等の無秩序な開発を防止し、合理的な土地利用計画を樹立して町の飛躍的な発展を図るため次のような基本方針を設定しています。

高度な生活水準に

各種の産業施策を講ずることによって産業構造は著しく高度化し、それに伴う住民所得は大幅な伸張をするものと推定され、住民の生活水準は著しく豊かになるものと予想されます。一方、住民生活が健全な観光とレクリエーション地域に予定する。

④前三項のほかの土地のうち農耕地は農業振興地域の指定地として、生鮮食糧品供給基地として、保全育成を図る。北部山林地帯は自然保護地域とする。

大型化移行の農業

本町の農業は米の生産を主体に発展してきたが、米の生産過剰、他産業との生産性の

格差等から転換を余儀なくされている現況にあります。今後の農業経営は、米に施設園芸、畜産を取り入れた方向に進むものと思われ、また工業等の開発に伴って小規模経営者の他産業への転業が予想されることから農業経営の大型化を図られよう。町はこれに対応した高度な生産基盤の整備を行ない、他産業と比肩する本町農業の将来をみていきます。

(次号へ続く)



勉強意欲は充分

アンケート結果から

本年二月実施した公民館に関するアンケートの集計がこのほどまとまりました。

この調査は、町内に居住する十八才以上の男女を対象に二、〇〇〇名を抽出して実施したもので、学習参加の状況や、学習要求、学習の可能条件、グループ活動等について調査したもので、一、二四四名の方からの回答がありました。

この集計結果によると、今までに公民館が主催した学

級、講座等に参加したことのある者は男、一四％、女三七％と圧倒的に女性の参加が多くなっています。感想については、とても参考になったと答えている者が男七四％、女六九％とおおむね好評のようです。また参加の動機については、知識、教養、技能を身につけたかったのが最も多く男四九％、女六二％と非常に学習に対して積極的です。また、今何かを勉強したいと思っていますかの質問に対し

では男八一％、女八六％の方が勉強したいと思っています。次に公民館の学びたいと答えている者は、日曜日と答えた者が最も多く男三九％、女三一％、次に、いつでもよいと答えた者が男二二％、女二四％、となっています。

また、参加するのに都合のよい時間帯については、午後一時から四時までの間が圧倒的に多く男四八％、女六五％であり、夜間を希望するものは意外に少なく男二七％、女七％です。次に、グループ活動への参加の状況については男二二％、女一七％の者が現在グループに参加していません。その参加の内容は、親睦を深めるためのグループに参加しているものが最も多く男三三％、女三四％で、次が趣味を楽しむためのグループで男二六％、女三〇％となっています。残念ながら、スポーツを楽しむためのグループや、社会奉仕を目的とするグループへの参加は非常に少ないようです。また参加しての実感には男五六％、女七〇％が、現在の活動に満足を示しています。これから何かのグループに参加したいと思いませんか、の質問に対しては男七一％、女六七％の者が参加したいと答えています。その参

加したいと思うグループは、趣味を楽しむためのグループが圧倒的に多く男四七％、女五〇％、となっています。次に、余暇の過ごし方については、男女ともテレビ、ラジオの視聴により余暇を過ごす者が最も多く、続いて男性は「新聞を読む」「休養する」の順であり、女性は「身のまわりの整理をする」「家族とだんらんする」の順です。いづれも家の中にとじこもって余暇を過ごすものが多いようです。

次に、公民館はどんなことをするところだと思えますか、の質問に対して、住民の教養などの向上を図るところと理解している者が男六一％、女六五％であり、また、中央公民館は住民のために役立つものかと思いませんか、の質問に対しては男五六％、女六七％の者が役立っていると思われています。また、公民館を利用した時の感じについては男五四％、女六六％の者が開放的と感じがよいと答えています。男一八％、女一三％の者がお役所的であり感じがよくないと答えています。

以上、公民館に関するアンケート結果の概要ですが、本資料を参考に大いに反省し、公民館の果たす役割を充分理解されるよう心掛け、公民館事業の活発化と充実を図って行きたいと思えます。

なお、詳細については、別の機会を利用して報告いたします。

十年一昔 (その二十九)

— 学校給食あれこれ —

給食センター 小沢所長寄稿

「先生このコロッケ変な形だね卵みたいだ」
 「あら、そんな色の卵なんてないわ、ボクモチみたいよ」
 「でもうまいよ」
 「うん珍らしい格好だね、きつと給食センター特製なんだよ、先生のはまだ温かいよ」
 「やーソースをかけたらけむ

「先生と子供さりが出たー」先生と子供さんがコロッケ一つにも話の花を咲かせる、今学校は給食の時間です。同じ物を一緒に食べる親しさと楽しさが室一ぱいに溢れているようです。

その頃、上塚小学校は体操が勝っていました。県や郡の大会では何時も入賞していましたがどうも他の学校に比べて体格が劣るといふデータが出てきました。「これは食

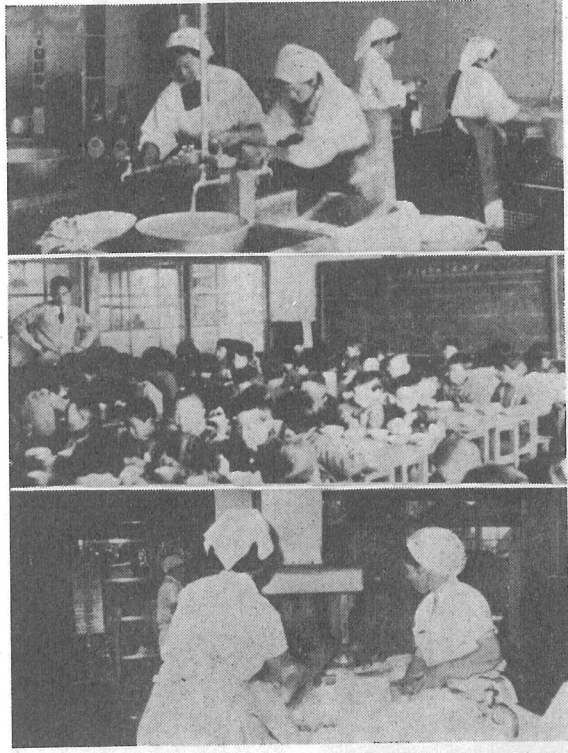
べ物の好き嫌いが関係するのではなかいか」という処から P.T.A 等でも再三打合せや研究会を開いて話し合いました。又地元出身の町会議

「先生このコロッケ変な形だね卵みたいだ」
 「あら、そんな色の卵なんてないわ、ボクモチみたいよ」
 「でもうまいよ」
 「うん珍らしい格好だね、きつと給食センター特製なんだよ、先生のはまだ温かいよ」
 「やーソースをかけたらけむ

その頃、上塚小学校は体操が勝っていました。県や郡の大会では何時も入賞していましたがどうも他の学校に比べて体格が劣るといふデータが出てきました。「これは食

べ物の好き嫌いが関係するのではなかいか」という処から P.T.A 等でも再三打合せや研究会を開いて話し合いました。又地元出身の町会議

「パンでも腹がいばいになるらしい」 「牛乳まで飲ませてください」 「弁当をつくる手間や副食物の心配がない」と大好評で、幾分危懼の念を抱いていた関係者をほっとさせたのです。



ぶっつけ本の完全給食

総務員芳名簿

(○印は特別総務員)

- 大総地区
 木戸台 上杉 秀
 町原 太田 実
 小堤 伊藤 日吉
 寺方一 鶴岡 謙
 寺方二 瀬理 芳雄
 富 陸
 曾根合 綿貫 栄作
 於幾 石橋 喜雄
 坂田 小倉 鉄一
 取立 押尾 良夫
 長倉 伊藤 勝衛
 姥山 伊藤 衛
 遠山 伊藤 衛
 中台 伊藤 衛
 牛熊 伊藤 衛
 谷合 萩原 利衛

- 横芝地区
 上町 ○久保田貞雄
 " " 大藤竜太郎
 " " 藤代 忠夫
 " " 鈴木 恭一
 " " 越川福三郎
 " " 杉森 才二
 " " 田中 敬吉
 " " 早川 秀夫
 " " 石毛 正治
 " " 伊東 精一
 " " 熱田 辰夫
 " " 古川二 石井 千秋
 " " 古川一 石井 直幹
 " " 西国 字井 敏夫
 " " 東町 小川 敏夫
 " " 池田嘉三郎
 " " 椎名 武茂
 " " 小沼 喜一
 " " 鈴木 孟
 " " 若梅 喜一
 " " 栗山 金司

- 上塚地区
 屋形 ○伊藤 章
 南前 藤平 清
 宮前 海保 豊
 荒場 早川 力二
 三本松 実川 泰一
 立会一 大木 治男
 " " 小川 藤衛
 " " 吉川 利一
 " " 佐瀬 嘉男
 " " 南川岸一 木島 敏夫
 " " 新島 三木 茂
 " " 道貫 伊東 幸
 " " 新田 伊東 幸
 " " 本郷 秋葉 知之
 " " 荒場 伊東 貞二
 " " 三島 石橋 正輝
 " " 北清水 鈴木 米
 " " 入間 渡辺 春雄
 " " 三軒家 伊藤 幸夫
 " " 西野 浅野 嘉一
 " " 秋葉 嘉一
 " " 新青 伊藤弥寿生
 " " 東青 斎藤 重宏 (敬称略)

- こうして、昭和四十一年十一月学校給食センター発足と共に大総小、横芝小と同じく、職員も食器類もセンターに吸収合併されて今日を迎えたのです。
 写真、上は昭和三十六年頃の上塚小学校調理場、向う側では何か味付けでもしているようです。こちらでは食器が野菜を洗っています。水道パイプが天井から下りているのが目につきます。中は同じ頃の給食風景、後の方に当時の校長鈴木包義先生の姿が見えます。下は最近の給食センター洗浄機と作業の状況です。
 (この稿取材に当り屋形実川弁之助氏の御協力をいただきました)
- 若梅 力
 " " 椎名 伴克
 " " 若梅 守男
 " " 宮口母里江
 " " 四ノ二 若梅 吉雄
 " " 東部 若梅 弘
 " " 伸和会 勝保 豊
 " " 青芝会 沢田 弘
 " " 東ヶ丘 寺本茂一
 " " 宮脇 渡辺 葵
 " " 南部一 成田 久蔵
 " " 四五会 越川 健三
 " " 四六会 高橋 延雄
 " " 四六会 日向寺米子
 " " TCC社宅 小南比呂志
 " " 鳥喰新田 杉浦幸太郎
 " " 上 今井 豊
 " " 沼 市原 英男
 " " 下 椎名 清
 " " 上 伊藤 章
 " " 南前 藤平 清
 " " 宮前 海保 豊
 " " 荒場 早川 力二
 " " 三本松 実川 泰一
 " " 立会一 大木 治男
 " " 南川岸一 小川 藤衛
 " " 新島 吉川 利一
 " " 佐瀬 嘉男
 " " 南川岸一 木島 敏夫
 " " 新島 三木 茂
 " " 道貫 伊東 幸
 " " 新田 伊東 幸
 " " 本郷 秋葉 知之
 " " 荒場 伊東 貞二
 " " 三島 石橋 正輝
 " " 北清水 鈴木 米
 " " 入間 渡辺 春雄
 " " 三軒家 伊藤 幸夫
 " " 西野 浅野 嘉一
 " " 秋葉 嘉一
 " " 新青 伊藤弥寿生
 " " 東青 斎藤 重宏 (敬称略)

国民年金

免除の手続は
六月三十日まで

国民年金では、保険料を納めたくても、家計が苦しいとか、病気や災害などで保険料を納められない加入者については、保険料の納付を免除できることになっていきます。

この免除は、原則として翌年の三月までの保険料について行なわれます。したがって、今年も免除を受けていて、今年も納めることが困難である加入者とか、昨年までは納めていたが今年に納めることが困難な加入者で、年度当初から免除を受けようとする方は六月三十日までに保険料免除の手続をして下さい。



輝く叙勲
伊藤さんの胸に

天皇誕生日の四月二十九日恒例の春の叙勲が発令され、自治功労者として、遠山の伊藤右伸さん(七十二才)が栄えある勲六等単光旭日章を授章いたしました。

二十余年間公職にあったもので、大総村議会議員、農業委員、教育委員、横芝町議会議員を歴任して、終始一貫地方自治振興発展に貢献された功績に対し贈られたものです。

建設のあゆみ

5月完成した事業	
① 道路舗装工事	
三島地先	571 m
古川地先	214 m
上町鳥喰新田	1,812 m
(オールカバー)	



住民税の控除額増す

昭和四十七年度の税制改正に伴って、住民税の所得控除額等が次のように引き上げられ、今年度から適用実施されます。(カッコ内は改正前の額)

- 一、所得控除の引上げ
 - 1 基礎控除額十五万円 (十四万円)
 - 2 配偶者控除額十四万円 (十三万円)
 - 3 扶養控除額十一万円 (十万円) 但し、配偶者がいない場合の一人目十二万円(十一万円)
 - 4 寡婦、勤労学生、障害者老年者の各控除額十万円 (九万円) 特別障害者控除額十二万円 (十一万円)
 - 5 生命保険料控除二万七千五百円(前年同)
- 二、専従者控除額の引上げ
 - 6 医療費控除限度額百万円 (前年同)
 - 白色申告者の専従者控除額一人十六万五千円 (十五万円)
- 三、配偶者控除及び扶養控除の適用要件である所得限度額の引上げ
 - 給与所得等十五万円(十万円) 資産所得等十万円 (五万円)
- 四、納税義務者である障害者未成年又は寡婦についての非課税の範囲が年所得三十八万円(三十五万円)まで引き上げられました。

母と子の幸を

母子保健推進員決る

母子保健推進員は、町の行う母子保健事業の充実と、地域における母と子の保健向上のため、健康診断、育児相談、栄養指導を行っています。町では、本年度あらたに、六名の推進員を委任し各地区を担当していただくことになりました。健康で明るい家庭をつくるため推進員の方々の活動が期待されます。

- 母子保健推進員の仕事
 - 母子保健に関する各種申請、検診などの未受診者への勧奨
 - ※母性、乳幼児の保健に関する問題点のは握
 - ※妊娠中毒症に対する療養援護の紹介
 - ※その他保健思想の普及
- 推進員担当区域
- 内田あさ 大総、上町、本町
 - 大野すゑ 東町、古川、両国
 - 伊藤三千子 屋形
 - 山本千代 新島
 - 森八千代 北清水

横芝俳壇

横芝句会五月例会

初夏の町一樹の蔭の靴磨き
電解けずまろび合いたる吹溜り
安井ゆずる

電晴れて又烈日に戻りけり
鈴木 暁風

馳け抜けし電ざりげなき空の色
奥山 萌古

まばたきてまたまどろめる羽
拔鳥

電の降る気配や急に気温落つ
鈴木 蘭堂

うろうろと闘志失う羽拔軍鶏
伊藤 保人

羽拔鳥ころがる如く駆けまど
佐久間実枝子

山藤やなお岩肌のくずれあり
藤代 ゆう

羽拔鳥裸のままに売られけり
加藤 庄長

木下石果子
三枝 句城

芝の電池に転じて浮きにけり